

第5学年 ESDカレンダー

教科領域	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
国語			次への一歩活動報告書				グラフや表を用いてかこう		分かりやすく伝える		すいせんします
社会	わたしたちの国土	わたしたちの生活と食料生産			わたしたちの生活と環境 (わたしたちの生活と森林)		わたしたちの生活と工業生産			わたしたちの生活と環境	
算数						帯グラフと円グラフ					
理科		生命のつながり									
音楽											
図画工作							伝えたい思いや気持ち				
家庭							元気な毎日と食べ物				エコライフ
体育											
外国語活動											
総合的な学習の時間											
特別の教科道徳											
特別活動											
行事					富士学園移動教室		社会科見学	エコプロ			

問題解決の質を高める ——— よりよく価値観を広げる ——— 各教科等の学びの質を高める

第 5 学年
総合的な学習の時間

世界を見直して環境を考えよう

平成 30 年 6 月 20 日(水) 第5校時
杉並区立西田小学校 第 5 学年 1 組 34 名
授業者／濱元 雅俊

単元目標

- 環境問題に関心をもち、その影響、原因、対策等を調べ、情報を関連付けて整理したり、分析したりすることを通して、より良い地球環境について多面的に捉えることができる。
- 環境問題を自分事として捉え、社会の一員として対策に取り組むことを通して、持続可能な社会の実現に向けて問題を解決していく行動力を育てる。

児童の実態

①価値観について

児童は、世界の環境問題や自然災害の様子が描かれた写真を見て、日本ではこのような問題は、ほとんど起きていないと感じ、今の生活に安心感を抱いている児童が多かった。その後、様々な環境問題を調べていくうちに、日本でも環境問題が起こっていることに気付き、他人事ではないという実感が高まっている様子が見られた。しかし、環境問題に自分たちが関与していると気付いている児童は少ない。そのため、様々な環境問題が起こる原因や影響を捉え、環境問題の全体像を理解し、より良い環境の実現に向けて行動する姿勢を引き出していきたい。

②「考える」について

児童は、環境問題の原因や影響について資料から情報を収集することはできる。しかし、環境問題全体の根本的な原因や相互関係について着目し、次の学習の見通しをもつことができる児童は少ない。そのため、思考ツールを用いて、多様な情報を分類・整理することを通して、環境問題の原因や相互関係を捉え、多面的・総合的に分析する姿を引き出したい。

単元観

本単元では、SDGs の 11～15 の目標に関連させて、環境という側面から持続可能な社会の創造を目指す資質・能力の育成を目指していく。単元の前半では、地球に起こっている環境問題に関心をもち、「環境問題と環境を守る活動」について、資料を調べたり、環境問題に取り組んでいる団体の話を聞いたりして、理解を深めていく。また、調べた情報を整理・分析したり、調べたことを発表し合ったりする段階では、調べたことを関連付けたり、様々な環境問題の原因等のつながりを見付けたりすることを通して、環境問題の全体像を総合的に捉えられるようにする。また、ここまでの学習過程を生かし、社会科「わたしたちの生活と食料生産」、「わたしたちの生活と森林」の学習を並行して進めていくことで、児童自ら「影響」「原因」「対策」など、本単元で得た観点で食生活や森林の問題について捉える姿が見られ、総合的な学習の時間を教科等の学びの充実に結び付けることができると考えた。

単元後半では、児童それぞれが捉えた環境問題の対策について、資料等を用いた調べ学習や、エコプロ 2018 への参加等を通して理解し、自分たちの生活との関連について考えを広げていく。さらに、より良い環境づくりと自分たちの生活とのつながりについて見いだしたことをきっかけに、自らより良い環境の実現に向けて、目標を立て、達成のために必要な情報を収集し、見通しをもって行動する活動を取り入れた。このような学習過程を積み重ねることで、自分た

ちの行動が、世界環境と結び付いているといったように、環境問題に対する価値観を広げていくとともに、課題を解決する過程を理解し、持続可能な社会に向けて自ら行動する力を育てていきたい。

評価規準（ESD の観点から）

学習過程	観点	評価規準	
		環境問題に対する総合的な理解	環境を守る活動の理解と環境改善に向けた行動
課題の設定	身の回りの事象に興味関心をもつ力	①② 世界自然遺産や環境問題の写真を通して、世界の環境に興味・関心をもつ。 ④ 「よい環境」という観点で、身の回りの事象を見つめることができる。	⑫ 「食生活」という観点で、自分の行動や生活とのつながりに興味・関心をもつ。
	課題を見付ける力	③⑤ 今、世界で起こっている環境問題についての写真を見たり概要を調べたりして、地球の課題に気付く。	⑬ より良い環境の実現に向け、自分たちの関わり方について考える。
	課題解決のための計画を立てる力	⑥ 環境問題を解決する取組をしている団体の話から、環境問題について調べる視点を明確にすることができる。	⑭ 環境改善という目標に向けて、情報の収集、整理・分析、行動…という問題解決の過程を踏まえた活動計画を立てることができる。
情報の収集	目的に応じて情報を収集する力	⑦ 環境問題とその影響、原因等を資料、本、インターネットを用いて調べることができる。	⑮ 環境問題の対策について、資料や本、インターネットを用いて調べることができる。 ⑯ 「エコプロ 2018」の見学により、環境問題に対する企業の取組を捉えることができる。 ⑰-⑱ それぞれの目標達成のために必要な情報を、アンケートやインタビューを通して収集することができる。
情報の分析・整理	情報を整理・分析する力	⑧ 環境問題とその影響、原因について因果関係を整理することができる。また、整理したことを基に、自分たちの生活との関連について考えることができる。	⑲ 環境問題の対策について調べたことを整理し、自分たちの生活との関連について考えることができる。 ⑲-⑳ 調査結果を整理・分析し、今後の活動について考えることができる。 ⑲-㉑ 結果を整理・分析し、成果と課題をまとめることができる。
行動	課題解決のために行動する力		⑲-㉒ 環境改善のために、自分たちが考えたことを発信することができる。
まとめ・表現	分かりやすくまとめ、表現する力	⑩ 整理・分析した図を基に、調べたことを視点ごとにまとめ、報告することができる。 ⑪ 互いに調べた環境問題等を関連付け、地球上の環境問題の全体像を総合的に捉えることができる。 ⑫ 調べて分かったことをもとに、「(世界の)より良い環境」について、自分の考えをまとめることができる。	⑲-㉓ 環境改善の取組の成果と課題を分かりやすくまとめ、発表することができる。 ⑲-㉔ これまでの学習を振り返り、「持続可能な環境」という観点で、自分の考えをまとめることができる。

第 5 学年

総合的な学習の時間

世界を見直して環境を考えよう 単元計画

<外部人材・地域資源等>

・公益財団法人オイスカ ・東京海上日動
・杉並区都市整備部みどり公園課みどりの計画係

環境問題に対する総合的な理解

課題設定

学習活動①: 世界自然遺産などを知り、地球環境の素晴らしいところを交流する。(1 時間)

学習活動②: 地球の環境問題を知り、地球の課題を交流する。(1 時間)

【資料:オイスカ】

学習活動③: 地球の環境について、問いをもつ。

(1 時間)

・ どうして環境問題は起こるのだろう

学習活動④: 世界が良い環境とはどんな様子か、イメージを描く。(1 時間)

学習活動⑤: 今、世界で起こっている環境問題について調べる。(1 時間)

・ 地球温暖化 ・ 生態系の破壊 ・ 海面上昇 など

学習活動⑥: 環境問題に対して取り組む団体の活動内容を知る。(1 時間)

【資料:オイスカ】

・ オイスカの理念や目標 ・ 環境問題とその原因 ・ 対策 など

情報の収集

学習活動⑦: 環境問題とその原因について調べる。(8 時間)

(1) 環境問題とその影響

(2) 環境問題の原因

情報の整理・分析

学習活動⑧: 環境問題とその原因について調べたことを整理・分析し、考えをまとめる。(6 時間)

(1) 環境問題とその影響の因果関係を整理・分析する。

・ 環境問題がほかの環境問題を引き起こしている。
・ 様々な場所に悪い影響がありそうだ。

(2) 環境問題の原因について調べたことを関連付けて整理・分析する。

・ 自分たちの生活が原因になっている。

まとめ・表現

国語「事実と考えを区別して、報告する文章を書こう」

◇ 報告書の文の組み立てを確かめる。 ◇ 報告書を書く。

◇ 書いたものを読み返す。

学習活動⑨: 調べたことを報告し合う。(3 時間)

学習活動⑩: 環境問題による影響や環境問題の原因を比較し、関連付ける。(3 時間)

・ 結局、空気と水の問題。 ・ すべて原因は人の活動にある。

学習活動⑪: 報告し合ったことを基に、よい環境のイメージについて個々にまとめる。(1 時間)

社会「わたしたちの生活と食料生産」

◎各教科等の学びの質を高める ◎よりよく価値観を広げる

1. 食料生産をめぐる問題について話し合い、学習問題を立てる。

2. 食生活の変化や就業人口の減少、農業生産や漁業生産の減少による食料自給率の低下について調べる。

3. 食の安全・安心に向けた取組について知る。

学習活動⑫: 食料問題に取り組んでいる団体の話を聞く。

【協力:三信化工株式会社】(2 時間)

・ 自分たちの食生活も環境問題に関わっているんだ。

社会「わたしたちの生活と森林」

◎各教科等の学びの質を高める

1. 日本の森林についての問いを交流し、学習問題・学習計画を立てる。

2. 日本の森林の様子について調べる。
3. 天然林の手入れの仕方や働きについて調べる。

4. 人工林の手入れの仕方と問題点について調べる。

5. 林業で働く方のお話を聞く。

【協力:富士山レンジャー】

6. 森林の問題に取り組んでいる団体の話を聞く。
「みどりの授業」【協力:東京海上日動】

・ マングロープの役割 ・ 東京海上日動の環境保全の取組 など

7. 農地やお屋敷林を巡る。【協力:杉並区都市整備部みどり公園課みどりの計画係】

・ 自分たちの住む町の森の様子 ・ お屋敷林の効果 ・ お屋敷林保全の工夫や努力

8. 森林資源の利用

9. 森林資源の働きや私たちの生活との関わり、環境保全の活動などについて、新聞にまとめる。

課題設定

学習活動⑬: 環境問題についてこれまで調べてきたことを基に、今の環境をどうしたいか考え、課題を設定する。(1 時間)

学習活動⑭: より良い環境の実現のために、自分たちができることという視点で目標を立てる。(1 時間)

学習活動⑮: エコスクール NISHITA を目指すための活動計画を立てる。(2 時間)

国語「事実と考えを明確にして話し合い、提案する文章を書こう」

◇ 「エコスクール NISHITA」を目指すために、何をするとよいか(提案)を、グループで話し合う。

◇ 提案書を書く。 ◇ 提案書を読み合う。

情報の収集

学習活動⑯: 環境問題への対策について調べる。(3 時間)

学習活動⑰: 環境問題に取り組む企業の話聞き、企業の取組を知る。(3 時間)【協力:エコプロ 2018】

情報の整理・分析

学習活動⑱: 環境問題への対策について調べたことを関連付けて整理・分析する。(2 時間)

自分の生活の中ですぐに改善できることがある。

学習活動⑲: 活動計画に沿って、調べ、考え、行動する。(20 時間)

(1) グループ活動 <例>

(1) 自分たちの学校生活の中で、二酸化炭素が出る原因を調べる。

(2) 環境にいい生活ができてい
るか、アンケート調査をする。

(5) 結果を確かめる。

(3) 調査結果を整理・分析して、
改善すべき点を見付ける。

(6) 結果を整理・分析し、
成果と課題を考える。

行動する

(4) 呼び掛ける。

まとめ・表現

(7) 取組の成果と課題を
まとめ、伝える。
「ESD 子供報告会」

学習活動⑳: 今までの学習を振り返り、世界が良い環境であるために大切なことについて考える。(1 時間)

環境を守る活動の理解と環境改善に向けた行動

本時の授業デザイン（17 時間目／70 時間）

本時の目標

環境問題について調べたことを整理する活動を通して、環境問題の原因を捉えることができる。

評価規準と手だて

評価規準情報を整理・分析する力

- それぞれの環境問題について調べたことを、クラゲチャートを用いて、関連付けながら整理することができる。

手だて①：情報を整理・分析する力を高める

★環境問題についての理解や解決という目標に対し、調べた情報を付箋に書き、クラゲチャートに整理することを通して、環境問題の原因について考えさせる。

◎情報を関連付け、クラゲチャートを完成させているグループ
⇒調べたことをもとに、原因のもとになっているものを考えさせる。

○原因と原因の関連付けができていないグループ
⇒因果関係を一つの例をもとに一緒に確かめる。
⇒ある原因のさらに原因となっているものについて、例を挙げ確かめる。

△グループワークが進まないグループ
⇒原因一つにつき付箋一つに書くように助言する。
⇒一つの因果関係を一緒につくる。

手だて②：問題解決の質を高める

★学習内容と学習過程の 2 点について振り返らせる。

◎学習過程と学習内容をつなげて、振り返りができている児童＝①②③
⇒今後の学習の中で応用できる場面を考えさせる。

○学習内容について振り返りができている児童＝①②のみ
⇒本時のどのような学習活動が、自分の考えを見いだすのに有効だったのか振り返らせる。

△学習内容について振り返りができていない。
⇒前時の学習シートとクラゲチャートを見返し、
本時でどんなことが分かったのかについて書かせる。

①
導入

②
展開

③
終末

学習の流れ

◆全体で目的を確認する。

- ・環境問題について知って、解決することを目標にしている。



環境問題の原因をとらえよう。

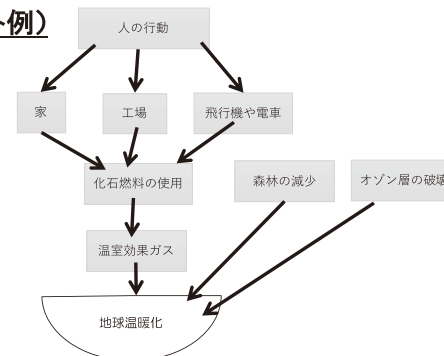
◆調べた環境問題の原因を、クラゲチャートを用いて、関連付けながら整理し、分かったことを話し合う。

①クラゲチャート(まなボード)にまとめる。

◆付箋に書いた原因を並べ、整理する。

◆原因それぞれが、どのようにつながるのかを話し合い、整理する。

(クラゲチャート例)



②クラゲチャートに整理して分かったことを、グループで話し合う。

C:地球温暖化の原因の多くは、人の行動が関係している。

C:他の環境問題も、地球温暖化の原因になっている。

C:温室効果ガスが大きな原因かもしれない。

◆今日の学習を振り返る。

振り返り例

①本時の活動内容

②本時に分かったこと

①今日は、前回パソコンや本で調べた環境問題の原因を、グループの中で出し合って、クラゲチャートに書きました。②地球温暖化の原因は、森林減少や、工場・家などから排出される温室効果ガスなどがありましたが、ほとんどが人の行動につながっていることが分かりました。③調べたことをみんなで出し合って、付箋でつなげてまとめたことで、環境問題の原因がよく分かりました。

③本時の学習過程について